

プログラム一覧		
2011年10月6日(木) オープニングセミナー		
OS1 9:00~10:00	パーキンソン病 発症機序 司会：戸田 達史、服部 信孝 共催：エフビー(株)	1. 孤発性パーキンソン病 東北大学医学部神経内科 武田 篤 2. 遺伝性パーキンソン病 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 高橋 良輔
OS2 10:00~11:00	パーキンソン病治療に伴う 運動合併症 司会：近藤 智善、久野 貞子 共催：グラクソ・スミスクライン(株)	1. 臨床および病態生理 東海大学神経内科 吉井 文均 2. パーキンソン病治療に伴う運動合併症の治療 順天堂大学脳神経内科 久保紳一郎
OS3 11:00~12:00	パーキンソン病と コリン作動性障害 司会：植木 彰、篠遠 仁 共催：キッセイ薬品工業(株)	1. 認知障害 鳥取大学脳神経内科 中島 健二 2. 歩行障害 順天堂大学医学部附属静岡病院 脳神経内科 大熊 泰之
LS 12:00~13:00	抗パーキンソン病治療薬 司会：村松 慎一、村田 美穂 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	1. Symptomatic 慶應義塾大学医学部神経内科 高橋 一司 2. Disease modifying drugs 愛媛大学医学部附属病院薬物療法・神経内科 野元 正弘
OS4 13:00~14:00	多系統萎縮症 司会：中川 正法、横地 正之 共催：大日本住友製薬(株)	1. 分類および病態生理 名古屋大学医学部保健学科 平山 正昭 2. 治療および予後 新潟大学脳研究所神経内科 下畑 享良
OS5 14:00~15:00	進行性核上性麻痺および 皮質基底核変性症 司会：今井 壽正、祖父江 元 共催：大塚製薬(株)	1. 臨床および病態生理、診断・鑑別診断 順天堂大学越谷病院 神経内科 森 秀生 2. 病理・発症機序 東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンク 村山 繁雄
OS6 15:00~16:00	Tourette 症候群 司会：金生由紀子、瀬川 昌也	1. 臨床症状・病態 瀬川小児神経学クリニック 野村 芳子 2. Tourette 症候群の治療（外科治療も含めて） 東京都立神経病院脳神経外科 谷口 真
16:00~16:30	コーヒープレイク	
OS7 16:30~17:30	代謝性疾患 司会：黒岩 義之、鈴木 則宏	1. 先天性銅代謝異常症と運動障害 帝京平成大学健康栄養学科 児玉 浩子 2. 遺伝性 dystonia-parkinsonism 浜松医科大学第一内科 宮嶋 裕明
OS8 17:30~18:30	遺伝性脊髄小脳変性症 update 司会：清水 夏繪、辻 省次	1. 常染色体優性遺伝性 SCD 東京医科歯科大学大学院脳神経病態学 水澤 英洋 2. 常染色体劣性遺伝性 SCD 新潟大学脳研究所神経内科 西澤 正豊
18:30~21:00	懇親会	

プログラム一覧		
	2011年10月7日(金)	2011年10月8日(土)
8:00~8:30	教育講演 1 司会：織茂 智之、河村 満 1. パーキンソン病 visual dysfunction 山形県立保健医療大学作業療法学科 平山 和美	教育講演 2 司会：立花 久大、水田 英二 1. 不随意運動の診察・評価法 東京都立神経病院神経小児科 熊田 聡子
8:30~9:00	2. パーキンソン病 Biomarker 最新知見 京都府立医科大学 分子脳病態解析学 徳田 隆彦	2. 遅発性ジスキネジア・ジストニア 岡山旭東病院 神経内科 柏原 健一
9:00~11:00	シンポジウム 1 司会：野村 哲志、宮本 雅之 嗅覚	シンポジウム 3 司会：梶 龍児、深谷 親 ジストニア
	1. 先天的と後天的な恐怖によって誘発される不随意運動は異なる神経回路によって制御される (財)大阪バイオサイエンス研究所 小早川 高	1. ジストニア総論 国立病院機構相模原病院神経内科 長谷川一子
	2. 嗅覚神経系の生理メカニズム 東京大学大学院医学系研究科 森 憲作	2. DBS から考え得る病態 都立神経病院 脳神経内科 横地 房子
	3. 孤発性・家族性パーキンソン病における嗅覚障害 大阪大学神経内科学 望月 秀樹	3. ジストニアの病態と治療：DBS 以外の治療 福島県立医大神経内科 宇川 義一
	討論	討論
11:00~13:00	ポスター討論・昼食	ポスター討論・昼食
13:00~15:00	シンポジウム 2 司会：小阪 憲司、山田 正仁 DLB 臨床研究の進歩	Controversy (13:00~15:00) 司会：中野 今治、平田 幸一
	1. DLB の初期精神症状：うつ状態は認知症の前駆症状となるか 筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 精神病態医学分野 高橋 晶	1. 孤発性パーキンソン病は単一の疾患である Yes 東京都保健医療公社 荏原病院 神経内科 田久保秀樹 No 国立病院機構北海道医療センター 菊地 誠志
	2. DLB の精神症状分析 滋賀県立成人病センター 老年内科 長濱 康弘	2. DLB は大脳に始まり病変は下降する Yes 独立行政法人国立病院機構宇多野病院 澤田 秀幸 No 福岡大学神経内科 坪井 義夫
	3. DLB の脳画像と病態生理 東京医科大学老年病科 羽生 春夫	
	討論	司会：廣瀬源二郎、三輪 英人
15:00~15:30	コーヒープレイク	3. L-dopa はドパミン不足の症状に対していつまでも有効である Yes 愛媛大学薬物療法・神経内科 永井 将弘 No 自治医科大学 内科学講座 神経内科学部門 藤本 健一
15:30~17:00	ビデオセッション 司会：田代 邦雄、山本 光利 1. 顔面の不随意運動 榊原白鳳病院 神経内科 目崎 高広 2. 心因性不随意運動/運動異常症 亀田メディカルセンター神経内科 福武 敏夫	4. PANDAS は確立した症候群である Yes 杏林大学医学部小児科 岡 明 No 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科 須貝 研司
17:00~17:30	総会	
18:30~21:00	イブニングビデオセッション 司会：柴崎 浩、柳澤 信夫 コメンテーター：宇川 義一、梶 龍児、葛原 茂樹、水野 美邦 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	